

マルカニュース Maruka News

マルカモットー 最善の奉仕 SINCERE SERVICE

2018
No.686
6月

下期のスタートにあたって。

上期が終了しました。業績については現在、確定作業中です。

特にこの第2四半期は第1四半期の不振を挽回する為に、大きく数字を伸ばせました。「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も成らぬは人の 為さぬなりけり」との格言通り、今後に対する大きな自信になったと思います。

下期に入り新たな計画を策定しますが、第2四半期の勢いを踏まえた目標を立て、年初計画を上回る数字で来年度に繋げたいと思います。余裕のある数字で中期経営計画を折り返すことが出来れば、昨年までは遥か遠い彼方に見えていたゴールが、はつきりと手の届くところまで近づくことが実感出来ます。

これらは、皆さん一人一人の日頃の努力の成果であり、会社に対する大いなる貢献です。経営基本目標の「個人の幸福」「会社の繁栄」「社会への貢献」が一致する経営の追求を目指して、前回述べたように皆さんの会社に対する貢献に報いる為に、「賞与」に加えて「社員インセンティブ」制度の導入を決定しました。

皆さんには自分が会社に貢献する為には何をすべきかを考え、そして実践し具現化してもらいたいと思います。会社が繁栄すれば、利益をその貢献に応じて還元し、皆さんの幸福感に繋がる施策を、これからも次々と具体化していきます。

前に「VUCA」の時代に入った話をしましたが、昨今の政治・経済・社会情勢を見ると、更にその度合いが深まっていると感じます。身近にあっても、仕事や生活で一層「一寸先は闇」「何が起こるか分からない」という不安がますます増大しています。

かかる状況の下で注目されるのが「レジリエンス(resilience)」です。一般的に「逆境からの回復能力・復元能力」「複雑な変化への適応能力」と定義されます。

混迷を深める競争社会の中で生き残っていく為には、「高い目標に挑戦する」とことと併せて「レジリエンス」を高めることが、ますます重要視されています。

「レジリエンス」を高めるいくつかの方法の一つに「自信」「信頼」の形成があります。「自信」は成功体験を積み重ねていくことで形成されます。つまらないと思う仕事や業務でも、自分なりに意味や意義を見出してその仕事に没頭することで、しっかりと取り組みやり遂げることが出来、「自信」の形成に繋がります。「信頼」は必要な周囲からの協力や応援を得る為に、自分を取り巻く人たちに対してありがたみを意識して接する、いろいろなことを相談することで築くことが出来ます。

今、目の前にある仕事に集中する中から、「自信」「信頼」を作り上げていってください。

「レジリエンス」を高めることは、マルカが目指す「真のグローバル企業」の必須条件であるダイバーシティ・マネジメントにとっても必要不可欠な要素です。

中期経営計画の目標完遂に向けて、国内海外を問わず全員が「レジリエンス」を高める意識を持って、残りの半年間、「BP&EE」「NR」の徹底で全力を出し切りましょう。

※BP&EE: Battle for Profits & strive to Eliminate unnecessary Expense

NR: Make every effort today, leaving No Regrets



竹下社長

2018年度キャンペーン

グローバルイノベーションⅡ
新たな幕開け 変革の刻

Global Innovation II
Time to start a New Chapter & Revolution

挑めマルカ20/70! SDS

Let's challenge for "Maruka 20/70"!
Keys are "SDS" --- Strategic / Decisive / Swift

〈Ⅲ〉

名古屋支店移転のご案内



さて、このたび弊社では下記の住所へ名古屋支店を移しました。

これもひとえに皆さまのご支援の賜物と心より感謝いたしております。

名古屋支店社員一同、心機一転して皆様のご期待にお応えできるよう一層精進して参りますので、何卒倍旧のご愛顧のほどお願い申し上げます。

名古屋支店長 栗栖 俊彦



新名古屋支店住所

〒460-0003
名古屋市中区錦二丁目9番29号
ORE名古屋伏見ビル7F

電話番号 052-211-3681

FAX番号 052-211-3697

注) 電話番号、FAX番号は以前と同じです。

営業開始日 平成30年5月7日(月)

ORE名古屋伏見ビルへは、
地下鉄伏見駅1番出口より北へ徒歩1分



勤続20周年を迎えて



大阪産業機械第二部長
河村 浩和

・20年間で一番の思い出

メーカーさんへ注文書発行後、検収頂くまでに40ヶ月(約3年半)かかったことです。この経験がある為、多少のことでは動じなくなりました。また、最終的にはお客さん、メーカー、社内の上長に助けてもらい何とかなるもんだと思えるようになりました。

・現状のご自身と次のステップについて

10年一昔という言葉が、現在では5年一昔の感じです。5年は長いかもしれません。このスピードに付いて行けるようにしたいです。

・若手社員へのメッセージ

最終的には何とかなります。なりますが、何とか出来る人とのつながりを作り、知識を得て、経験を積んで下さい。



マルカアメリカ社
日系部門 営業部長
重松 厚彦

・20年間で一番の思い出

改めて振り返ってみると、この20年、仕事を通して、たくさんの有難い出逢いに恵まれていたと感じ、その一つ一つが今の私を成していると感謝しております。中でも入社して数年が経った頃、あるメーカーの所長様にかけられた言葉が、今でも忘れられません。

「この業界で一人前になるには少なくとも10年はかかるぞ。辞めるなよ」

今思うと、それは当時の私の中の、ある種の慢心や、はたまた自信の無さを見越してかけられたものだったように思います。その何げない一言に幾度となく励まされ、奮起し、今日、勤続20周年を迎えることができたのだと感じます。たくさんの上司、諸先輩方、お客様から頂いた叱咤激励が、私の心の糧となっております。

・現状のご自身と次のステップについて

これまで国内・海外において貴重な経験をさせていただきました。この経験を生かすべく、マルカグループ国内外のネットワークを活用し、相互に情報を共有し合うことでより大きな商売へ、お客様の喜びへと結びつけていけるよう努めて参ります。

・若手社員へのメッセージ

「初心忘るべからず」「継続は力なり」ありふれた言葉ですが、私自身が大切にしている2つの言葉です。仕事に慣れてきた時、事がうまく運んでいる時であっても、常に奢らず、初めてマルカの門をくぐった、その時の気持ちを忘れないように心がけて下さい。

また、仕事を続けていく上で、うまくいかないこと、壁にぶち当たることもあるかと思えます。そのような時でも、すぐにあきらめてしまうのではなく、自分に何ができるのか、今の状況でお客様は何を望んでいらっしゃるのか、まずは自分の頭で熟考し、周りの先輩・上司とも相談しながら、常に最善を尽くして欲しいと願います。

マルカー丸となつて一緒に頑張っていきましょう。



勤続20周年を迎えて



静岡支店 支店長
熊谷 了輔

・20年間で一番の思い出

入社三年目でタイ3年、マレーシア2年、更にタイ2年と続けて7年間駐在したことですね。最初のタイ駐在時は、右も左も言葉もわからない中で、社内外の皆様に助けて頂きながら、がむしゃらに動きました。

想定外のことばかり起こりましたが、現地スタッフと協力して、最後までやり遂げられたことは自信にもなりました。次のマレーシア駐在では、ほとんどの期間、唯一の日本人駐在者として過ごしました。営業だけではなく、人事・総務・経理の仕事もせざるを得ない状況で、当時は大変な思いをしましたが、今では自身の糧になる非常に貴重な経験をさせてもらったことに感謝しています。

・現状のご自身と次のステップについて

昨年12月より静岡支店長として静岡市に赴任してます。今自分がこうしてあるのも、20年という長い間でお世話になった全ての方のおかげです。本当にありがとうございます。

今後は今までの経験を活かして、皆さまの役に立つことで恩返ししていきます。まずは、静岡支店を成長軌道に乗せることが自分の使命です。そのためにも、お客様のニーズを理解し最適な提案を続けていくとともに、自分自身も勉強し成長しないといけません。また、支店全員の強みを活かして、顧客満足度を高められる、力強いチームになりたいですね。そしていずれは海外に再度出て、現地法人の長に挑戦したいですね。

・若手社員へのメッセージ

平昌オリンピックで活躍したカーリング女子の合言葉は、Keep Smile, Stay Positive. だそうです。いつも笑顔で、前向きに行動すれば、結果は付いてきます。それでも、色々な困難にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、天は乗り越えられない試練は与えないと、思い出してください。

過去にこだわったり、未来を心配するよりも、今やるべきことに100%集中しましょう。そしてAI時代に負けない提案力を身に付けていきましょう！



業務部 部長
新城 浩文

・20年間で一番の思い出

一番はやはり入社した日のことです。入社式では緊張のあまり、自己紹介では上手く話すことができず、恥ずかしい思いをしましたが、そのことが印象に残っていることもあり、毎年入社式での新入社員の様子を見る度に当時は思い出し、初心に戻ることができております。

・現状のご自身と次のステップについて

参事に昇格してから1年になりますが、業務に於いては、まだまだ沢山の課題があるので一つ一つ改善できるよう、日々研鑽に努めていきたいと思っています。

・若手社員へのメッセージ

仕事を進める上で報連相は重要ですが、実践するにあたっては、先輩の知識やマニュアルに頼るばかりではなく、試行錯誤、自問自答も心掛けてほしいです。そうすることにより、仕事への関心度・問題意識・発想力が高まり、あらゆる業務改善に結びつけることができて、どんな仕事でもやりがいを感じるようになります。



勤続20周年を迎えて



マルカアメリカ社
日系部門 Vice President

佐藤 春樹

・20年間で一番の思い出

98年に新卒入社し99年8月にアメリカ(当時のニュージャージ本社)に赴任になりました。兎に角、海外で働きたいという希望が強くマルカキカイに入社した訳ですが、2000年にシンシナチに日系部門の事務所を作るという目的で単身転勤になり、自宅兼事務所という形で本当に何も無いところから全てを作れた事は最大の思い出。

今だから申し上げますが、マルカキカイの会社概況書に掲載されていたシンシナチ支店と言うのは、私の住んでいたアパートの住所が掲載されていたのを見た時は驚きました。

・現状のご自身と次のステップについて

アメリカには2006年まで駐在しそのままスライドでタイへ赴任。2009年に10年振りに日本(名古屋)へ戻りほとんど初めての日本勤務。2016年まで7年間日本で勉強させて頂き、2016年9月より10年振りに自分自身が作ったシンシナチ日系部門に再赴任。赴任後、直ぐに事務所を展示場を構える事を前提に移転。お陰様で、今年の5月には展示場が完成します。現在、協力メーカー様からの出向者を含めて7名の従業員で活動中。近々に米国南部への拡張も計画しています。

日々目の廻る忙しさながら、2000年に一人で来たこの町で仲間を増やしながらビジネスを拡大出来る喜びはなにものにも代えがたく、最大のやりがいを感じています。引き続き、お客様に喜ばれて成長出来る支店のリーダーとしての職務を全うしたい。是非とも、アメリカにお見えの際は、弊社へお立ち寄り下さい。

・若手社員へのメッセージ

顔は見えないかも知れませんが、ここアメリカも含めマルカキカイには全世界に300名以上の従業員が働いています。彼/彼女達はさまざまな理由と出会いで我々と一緒に働く事になりました。君達のライバルと仲間はまさに「世界」あり、是非、彼/彼女達と「Marukaとは何者なのか?」と熱く語れる仕事を一緒に作って参りましょう。

GROUP NEWS

グループニュース

北九金物工具(株)ご紹介



前列右より

篠原良輔(主任)、マルカキカイ竹下社長、
三角一夫(代表取締役社長)、平井英昭(相談役)、
白銀敬司(取締役)

後列右より

マルカキカイ難波取締役、田中祐樹、
秋吉孝誠(部長)、伊東博(部長)、
瀬川賢太郎(課長)、川下美代子、
山口沙織、鹿島加奈子

北九金物工具(株)は、1977年8月に機械工具卸商として設立されました。当時は取扱商品も少なかったが、現在では研磨材全般から作業工具、電動工具、伝導装置、測定工具、切削工具、エア工具、工作機械、油圧機器、空圧機器など幅広く扱う機械工具商に成長しました。特に研磨材のウエートは高く、北九州全域、山口県西部を中心とした堅実なユーザー先を対象とした強固な地盤を形成しています。

今回、マルカキカイグループとなったことで更に高い信用が加わるほか、同社のユーザー、メーカーに対して販路が拡大できます。更に、グループとしては、同社の強みである山口地域、九州北部地区の自動車メーカー、部品メーカーへ販売を強化、シナジー効果が生まれ工具、消耗品の販売拡大を図り当該事業の成長を目指します。

中国ビジネス再生会議が開催されました。



2018年1月29日（星期一）在丸嘉本社会议室二楼举办了中国业务再创会议，出席人员有本社の竹下社長、二橋専務（議長）、難波副本部長、飯田本部長、瀬戸小姐，中国現地職員9人。今次举办会议的目的是由于中国本部的计划和中期经营计划的目标有相差，基于这个现状，关于中国本部的将来发展，大家互相交换意见及讨论。

会议开头竹下社長先发表说了丸嘉集团销售壳及外国销售壳的发展、四极体制的外国销售壳率。随后二橋専務（議長）发表说了中国业务再创会议的企划方案及中国現地職員各自积极地发表了意见及进行讨论，会议最后中国現地職員各自下决心表意“为了2020年70亿日元达成目标努力加油！”



1月29日にマルカ本社にて中国ビジネス再生会議が開かれました。出席者は本社の竹下社長、二橋専務（議長）、難波副本部長、経営企画室・瀬戸さん、及び中国現地スタッフ9人です。

この会議の開催の目的は、中国本部の中期経営計画における目標と現状を踏まえ、これからの対処すべき課題の共有並びに新しい中国本部のあるべき姿について、ナショナルスタッフ全員で討議しました。

会議は、竹下社長のマルカキカイグループの売上高及び海外の売上高の推移、四極体制の海外売上高比率の説明で始まりしました。そして二橋専務（議長）から、中国ビジネス再生会議の企画案が発表されました。また、中国現地スタッフも各自の意見を積極的に発表し、活発に討論しました。

最後に、中国現地スタッフより2020年の目標達成に向け、各自の決意表明を行い終了致しました。

（記：广州丸嘉貿易有限公司課長 謝孔）

中国全体会議2018が開催されました。



3月10日，在上海丸嘉貿易有限公司的会议室召开了中国全体会议。召开中国全体会议讨论的主要主题是，在丸嘉机械现在被称为4极市场的日本、美国大陆、中国、东南亚及印度中做为4极中的1极，如何对策将更好的成长发展中国事业，2020年为止占据集团整体的中国事业的贡献度，如何做到真正符合被称为极的据点。

从丸嘉机械本社迎接二橋専務、飯田本部長、難波産機副本部長，会议的开头由长尾中国事业本部長发表今后的事业方针，再由上海、天津、广州的代表和干部依次发表事业计划和事业扩大计划。作为今后成长战略的顶梁柱，各据点提出了扩展本地大企业的销售、扩展丸嘉机械主要经营产品、扩展新产品的投入、扩展投入到中国国内新市场等意见。从这次中国全体会议上的内容再讨论确认作成针对2020年的规划图后结束了会议。会议结束后所有参加人员进行了联谊会，确认2020年目标达成的决心，结束了会议的全部日程。



3月10日に、上海丸嘉貿易有限公司の事務所会議室で中国全体会議が開催されました。

中国全体会議の開催の趣旨は、マルカキカイで現在4極市場と呼ばれる、日本、米大陸、中国、東南アジア及びインドの中にあつて、4極の内の1極としてどのような方策で中国事業をさらに成長発展させるかという事と、ひいては2020年までにグループ全体に占める中国事業での貢献度を真の意味で極と呼ばれるにふさわしい拠点となるかという点を主題に討議しました。

マルカキカイ本社より二橋専務、飯田本部長、難波産機副本部長を迎え、会議の冒頭に長尾中国統括本部長より今後の事

業方針についての発表に続き、上海、天津、広州の代表及び幹部社員より順に事業計画と事業拡大計画の発表がありました。それぞれの拠点から今後の成長戦略の柱として地場大手企業への販売を伸ばす、マルカキカイの主力取扱製品で伸ばす、新しい製品への取組みで伸ばす、中国国内の新しい市場への取組みで伸ばすというような意見が聞かれました。今回の中国全体会議で討議された内容からさらに議論を重ね2020年に向けたロードマップを作成することを確認して会議は終了しました。会議終了後、参加者全員で懇親会を行い2020年の目標を達成する決意を確認し会議の全日程を終えました。

（記：広州・龍野浩二）

東南アジア全体会議2018が開催されました。



2011年より開催され今回で第8回を数える東南アジア・インド全体会議が台北市にて4月23日、24日の2日間に渡り開催されました。冒頭竹下社長より今期スローガンである“新たな幕開け 変革の刻”、を基に20/70の指針となるコンセプトをお話しいただき、この目標に立ち向かうべく新たに気を引き締め直しました。

2月を以ち上期を終了した各現法からの発表では上期目標達成した部門に於いては各種有効施策に付いて、また未達の部門に於いてはその原因分析、更に下期に向けては通期目標に向けての必達の為の施策を発表しました。

アセアンの主要国、インドに展開する7現地法人ですがAECが発効した中、工業化の進展には各国様々な思惑、施策が展開されており各地それぞれ独自のビジネス展開をしている中、お互いの情報交換、有為な施策に付いての質疑応答、共通して展開すべきビジネス施策に付いてはその情報の展開を約しました。



マレーシアで展開中のエンジニアリングに付いては各国よりサービスマンを派遣・習得してもらう、タイのTMM会会員企業様からの輸出促進、食品機械販売の横展開など有為な情報交換の場ともなりました。

今回、本会議が台北での開催に合わせて台湾製設備の有力輸出先である東南アジア各国各現法での取り扱い販売の増大から有力メーカー様を訪問して、そのラインナップについての講習、東南アジア、インドでのビジネス展開に付いて有意義な情報交換をすることができました。

会議の場を離れた会食の席ではビジネスに関することはもちろん、お国柄に起因する様々な悩みなど普段できない相談をベテラン駐在員と交わすなど有意義な時を過ごすことができました。最後に今期目標の必達を約して乾杯の後、帰任の途に着きました。

(東南アジア・インド営業本部 統括本部長 黒澤淳一 記)

建設機械本部 環境展2018に出展いたしました!

5月22日～25日の4日間、東京有明ビッグサイトにて2018NEW環境展に昨年に引き続き5年連続で出展致しました。2020年東京オリンピック開催場所の関係上、オリンピック終了まで一旦今年で終了するということもあり、最終年にふさわしく昨年以上に気合をいれた展示会となりました。

昨年は「WORLD CUTTING TECHNOLOGY TEAM」と称し、走り出しを始めましたが、今年はそれが実を結び形となって表れてきており、昨年から加わったドイツの接続特殊チルトローターHKS社が先日のドイツ出張での交渉により正式に日本のパートナーとして契約を結ぶことができ、より強力な結束を固めることが出来ました。

このHKS社に加え、従来のドラムカッター世界シェアNo.1の



(WORLD CUTTING TECHNOLOGY TEAM2018)



(ブース前での動画によるプレゼン中)

ERKAT、KEMROC、国内のパートナーである(株)れんたま殿で4日間精力的にPRを行いました。期間中は国内で今まで考えられなかった工法や作業方法に興味を示す大手ゼネコンの幹部様、レンタル会社の社長様、同業者様からも注目を得てブースは大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。

この環境展を通じ、今まで取引のなかったお客様やメーカー様、ゼネコン様とお取引を開始させて頂き、弊社建設機械本部の一つの柱として樹立し続けていけると確信しております。

これからもこのTEAMをさらに拡大させ、国内での建設現場での問題点、苦労点等を一つでも多く解決できる手助けができればと願っております。今後ともマルカキカイ建設機械本部を宜しくお願い致します。

(東京建設機械部 児玉大貴 記)



Maruka's successfully-active employees

VOL.3



This article is to introduce "Maruka's successfully-active employees" all over the world. We believe the readers will know Maruka Group much better through this.

世界中で活躍している社員の紹介記事から、マルカグループをもっと詳しく知って貰いたいと願っています。

Industrial Tool, Inc.

Electrical / Controls Engineering Specialist

Ingvar Larsen

I have worked at Industrial Tool, Inc. ("ITI") since 1995 and became a part of the Maruka Group when Maruka U.S.A. acquired ITI in 2012.

Our mission is machining solutions with automation to resolve issues and provide solutions for our customers. Our company allows Maruka U.S.A. to offer more complete solutions for the end customers.

While I was born in Karlskrona, Sweden, I married a woman from a Minneapolis surrounding town and came to the USA in 1978. I am very proud of my wife, two sons and a daughter.

My training and experience are mostly in electrical design, programming, and process development for CNC machines and integration with automation. For over 25 years, we built custom CNC machines primarily for automotive industry that were designed for nearly 24/7 operation. ITI is now diversifying into other industry segments than automotive and offering automation to be incorporated into any operation. I have ensured my skills have kept current in an ever-changing industry segment. I work well with others as our deliverable necessitates teamwork. After we design and build these automation cells, our documentation of the process and controls is critical allowing our customers to do remediation if there are problems at their sites. Our most important goal is to achieve customer satisfaction. I provide the reliability, dependability, and commitment necessary to reach that goal. This helps us achieve sustained and repeatable customer business.

Being a part of changing, growing and diversifying business makes it fun and exciting for personal growth and development. We are achieving more success between ITI and Maruka U.S.A. each quarter. I am very proud to be a part of Maruka U.S.A. and Maruka Group success.

私は Industrial Tool, Inc. ("ITI") に1995年から勤務しています。Maruka U.S.A. ("MU") がITI を買収した2012年からは「マルカグループ」の一員です。

ITI のミッションは、機械や自動化システムを通じてお客さまの問題へのソリューションをご提供することです。MUがお客さまにより幅広い選択肢をご提供する応援もします。

私自身はスウェーデンの Karlskrona という町の出身ですが、縁あってミネアポリス近郊出身の女性と結婚し、1978年にアメリカにやって来ました。家内と3人の子供たち(2人の息子と1人の娘)という家族は私の自慢です。

私の専門と経験は、CNCマシンや関連自動化の電気系統の設計、プログラム、プロセスの開発といった分野です。ITI は25年以上に亘って、主に自動車産業の企業向けに、ほぼ“年中無休”で稼働するCNCの専用機を作り続けて来ました。そして現在、ITI は顧客層を自動車産業以外へも広げ、いかなる産業のいかなる業務にも通用する自動化をご提供しています。日々変化する業界の中で、私は常に自分の技術や知識を最新のものとして維持する努力を続けています。我々がお客さまに提供する成果物には「チームワーク」が不可欠であり、私は同僚たちと協力しながら働いています。自動化システムの設計・製作を終えた後は、そのシステムの稼働工程や制御機能を文書化することが最重要課題となります。なぜなら、お客さまが万が一問題に直面なさった際にはその文書がトラブルシューターとなるからです。我々の最も重要なゴールは「お客さまの満足」なのです。そのゴールを目指し、私はお客さまに「信頼」をご提供します。このことは、我々がお客さまから継続的にお仕事・お付き合いをいただく源泉です。

常に変化し、成長し、多様化する業界に身を置くことは、個人を成長させる意味からも非常に楽しく、ワクワクします。我々 ITI は、MUとの協働での成果を期を重ねるごとに増やし続けています。私は、MU、そして、マルカグループの一員であることをとても誇りに思っています。

海外赴任への決意



マルカ・タイ社
営業第三部(食品部)部長
瀬尾 猛夫

3月1日よりタイに赴任しています。食品事業部の担当になります。機械設備に特化した商社であることはご理解頂いていると思いますが、食品事業にも進出していることを改めてご認識頂けますようお願い申し上げます。

タイは人口7000万人弱、首都バンコクにはそのおよそ1割の人が暮らしています。弊社タイの現地法人はその首都バンコクのバンナー区にあります。

仏教の文化背景、君主制と日本の象徴天皇制、同盟国時代もあり非常に類似した歴史を持つ国タイ。この国で新しい食品事業に携われることに大きな責任と喜びを感じている日々です。

過去、台湾に6年駐在しており、今回が2度目の海外駐在になります。振り返れば、長期停滞することなく国内外の定期異動を繰り返す、「理想的な商社マン人生ではないか!」と感じております。それもこれも全てはお世話になりましたお客様、仕入れ先様、そして国内外にて多くの指導を頂いた先輩、上司に支えて頂いたからに他なりません。この感謝の念はタイでの食品事業の成功と拡大を持って表現させて頂きます。何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。

パパ大好き

頑張るパパの似顔絵

父の日にちなみ、弊社社員のモチベーション、原動力のお子様にはパパの似顔絵を描いてもらいました。みんな上手にパパを捉えてパパへの思いが詰まっています。



東京産業機械第一部
桑木 伸也 部長代理
次男 **照茉(しょうま)くん 4歳**



内部監査室
荒井 隆 室長
長男 **瑛斗(えいと)くん 4歳**



マルカインド社
藪内 利文 取締役
次女 **歌穂(かほ)ちゃん 4歳**



マルカインドネシア社
丸山 真史 取締役
長女 **千代(ちよ)ちゃん 5歳**



マルカインドネシア社
営業部 **花登 駿也 部長代理**
次女 **杏久里(あぐり)ちゃん 5歳**



東京産業機械第二部第二課
富田 昌孝 課長
長男 **慶友(けいすけ)くん 6歳**



東京産業機械第二部第一課
森下 周平 課長
長男 **憲伍(けんご)くん 6歳**



名古屋産業機械第二部第一課
藤木 慶吾 課長
長男 **優羽(ゆうわ)くん 7歳**



経理部
岡村 浩明 課長
長男 **潤之介(じゅんのすけ)くん 8歳**

イタリア・ドバイツアー (ミラノ・ボローニャ)



(ドバイ ジュメイラモスクの前で)



(イタリア マグニ社視察)



(ミラノでのマルカパーティ)

第31回マルカツアーは、27社61名の方にご参加いただき、3月13日に日本を出発し、ドバイ、イタリア視察ツアーと致しました。

ドバイでは、ゴールドスークなど旧市街と、世界一の高さを誇るブルジュカリファ展望台など、悠久のアラビアと近未来都市の不思議な融和を感じていただくと共に、Kobelco Middle East & Africaの根崎取締役による中近東市場のプレゼンテーションを行っていただきました。イタリアでは、当社が代理店を務めるMagni Telescopic Telehandlers srl (ボローニャ市)の工場視察と、アマローネのワイナリー見学、スーパーカーLamborghini工場見学など、北イタリア(ミラノ、ボローニャ、ヴェローナ)の魅力とワインを満喫していただきました。

ツアー中には、種々ハプニングの連続ではありましたが、ツアー参加者の皆様のご協力もあり、無事に帰国できましたことを感謝申し上げますと共に、忘れられない思い出にして頂ければと思っております。

次回もまた、皆様にご満足いただけるマルカツアーを企画したいと思っていますので、ご期待ください。

建設機械本部

2018年度 建機全体会議開催



3月5日(月)本社にて、全国の営業拠点より建設機械部門の社員やオペレーターの総勢26名が集まり、2018年度建設機械部門の全体会議が開催されました。

冒頭に竹下社長より、①中期経営計画(2017～2020年)の初年度はまずまずのすべり出しだったが2年目が肝要、②建機本部は、本年度が正念場である事、③既存ユーザーに加え、新規開拓ユーザーを開拓すること、④輸入製品の拡販など訓示を頂きました。

2018年度上期の達成状況、営業目標に対する課題や達成手

段等について各自発表を行いました。ジャパンレンタル㈱からは高岡社長、甲田執行役員に出席頂き、依然堅調に推移する業種の状況の報告がありました。

最後に砂河本部長より総括があり、国内営業部門の売上増による利益の向上を狙いつつ、海外製品の輸入販売拡大、国内レンタル事業の売上増を目指すという方向性を確認した会議となりました。

国内の堅調な需要に支えられ、これからも伸長するマルカカイ・建設機械本部にご期待ください。

マルカの動き

動 き

3月 1日	： 新キャンペーンオープニング
3月 5日	： 経営会議・営業会議・マーケティング会議（建機全体会議）
3月 10日	： 中国全体会議
4月 2日	： 入社式
4月 4日	： 四半期決算発表
4月 11日	： MM会情報交換会
4月 23～24日	： 東南アジア・インド全体会議

辞 令

3月1日付	
渡辺 貴久	フードシステムソリューション部 営業部長
瀬尾 猛夫	マルカタイ社 食品機械部長
和栗 潤	大阪建設機械第一部長
平木 清和	大阪建設機械第二部長
三好 辰夫	社長付特命担当部長
碓 宏一朗	マルカインドネシア社 社長
安田 和弘	マルカ広州社 管理部長
劉 颯	マルカ上海社 総経理

4月1日付	
堀 晃輔	国際営業部 部長代理
桑木 伸也	東京産業機械第一部長代理
黒田 淳児	大阪産業機械第二部第三課長
大倉 智晴	経理部 課長
喜多村 久	マルカマレーシア社 営業第四部長
藪内 利文	マルカインド社 営業部Manager
岡田 昌洋	東京建設機械部 主任
濱田 卓郎	国際営業部営業課 主任
蛇石 真人	東京産業機械第二部第二課主任
瀬戸 玉江	経営企画室 主任
小寺 智美	保険部 主任
今村 昂	大阪建設機械第一部

定年退職

3月31日付	4月30日付
吉儀 裕之	久語 敏彦

入社辞令

3月1日付	
茶野 雅友	FA機器営業部 第一課
4月1日付	
草野 嶺也	ソノルカエンジニアリング(株) 検査・品質保証部
藤井 魁	ソノルカエンジニアリング(株) 冷温システム本部 製造部
4月16日付	
永井 新吾	ソノルカエンジニアリング(株) 冷温システム本部 営業部

2018年新入社員

4月13日付 仮配属	
新井 瑞章	東京産業機械第二部
伊藤 新	名古屋産業機械第一部
刈田 浩次郎	東京産業機械第一部
迫 太陽	大阪産業機械第一部
原田 紗月	FA機器営業部
三橋 拓真	名古屋産業機械第一部

表 彰

○殊勲賞	
東京産業機械第二部	2件
FA機器営業部	1件
大阪産業機械第一部	1件
名古屋産業機械第一部	1件
○一般表彰	
【中国語検定4級】	
安田 和弘	経理部
【日本語検定1級】	
Charoensiri Teerada	フードシステムソリューション部
【貿易実務検定C級】	
新井 瑞章	東京産業機械第二部
伊藤 新	名古屋産業機械第一部
刈田 浩次郎	東京産業機械第一部
迫 太陽	大阪産業機械第一部
原田 紗月	FA機器営業部
三橋 拓真	名古屋産業機械第一部
勝野 大輔	経理部

2018年度新入社員入社式を4月2日に執り行いました。



竹下社長の新入社員への挨拶は、来る80周年90周年、100周年の節目では、大きく成長し、それぞれの持ち場で主役となり活躍していることを期待され、創業者の哲学が社訓の「人生は誠也」及び、経営基本目標の『「個人の幸福」「会社の繁栄」「社会への貢献」の三つが一致する経営を追求する。』に織り込まれた、これこそがマルカキカイのアイデンティティーの説明をなされ、最後に「笑う門には福来る。」と常に明るく元気に仕事に取り組んで貰いたいとエールを送られました。

後列左より
伊藤 新(イトウ アラタ)
三橋 拓真(ミツハシ タクマ)
新井 瑞章(アライ ミズアキ)
迫 太陽(サコ タイヨウ)
前列左より
刈田 浩次郎(カリタ コウジロウ)
釜江相談役
竹下社長
原田 紗月(ハラダ サツキ)



KOBELCO

取扱商品

テレスコピッククローラクレーン

TK750GFS TK750G

最大定格荷重

75t × 3.0m

ブーム長さ：10.0m ～ 30.1m

お問い合わせは

マルカキカイ 株式会社

本社・支店の建設機械部へ

大阪建設機械部 TEL.06(6450)6833
東京建設機械部 TEL.03(3808)1551

東北支店 TEL.022(288)7191
福岡支店 TEL.092(503)5871